

各地区業況アンケート結果（2020年1月調査分）

（2020年1月28日）

全国鉄鋼販売業連合会

1月27日締切で、当会役員149名に対しこのアンケートを行ったところ79名の回答があり（回答率53.0%）その結果が下記のとおりまとまりましたのでご報告致します。なお、本結果は鉄流懇など重要会議に資料として提出しています。

※ $DI = (A \times 2 + B \times 1 - D \times 1 - E \times 2) \div \text{総回答数} \times 100$ 、（数は回答実数）

1. 6割強の企業が前年割れ

問1】貴社の12月（先月）総売上数量・総売上金額は、前年同月と比し如何でしたか？（答）

	A. 10%以上増	B. 5%以上増	C. ほぼ横這い	D. 5%以上減	E. 10%以上減	計	前回
売上数量/前年同月比	4	6	19	25	24	78	81
比率	5%	8%	24%	32%	31%	DI-76	DI-90
売上金額/前年同月比	6	3	20	24	26	79	82
比率	8%	4%	25%	30%	33%	DI-77	DI-85

2. 収益状況悪化、赤字3割強に

問2】貴社の12月（先月）の鉄鋼部門における企業収益状況は、如何ですか？（答）

	A. 黒字	B. 若干黒字	C. 収支トントン	D. 若干赤字	E. 赤字	計	前回
企業収益状況	8	20	25	17	9	79	82
比率	10%	25%	32%	22%	11%	DI+1	DI+45

3. 年明けから販売量は更に減少傾向

問3】貴社の営業窓口から見て1月（今月）の販売量は、前月に比し如何ですか？（答）

	A. かなり増加	B. やや増加	C. ほぼ横這い	D. やや減少	E. かなり減少	計	DI	前回
公共建設向		6	23	17	10	56	-55	-29
民間建設向		4	27	26	10	67	-63	-35
自動車向			20	16	4	40	-60	-48
その他需要家向		1	28	35	5	69	-64	-59
仲間取引		1	28	25	10	64	-69	-70
計	0	12	126	119	39	296	-63	-49
比率	0%	4%	43%	40%	13%			

4. 先行きも低調な販売続く

問4】貴社における向う2月から4月までの需要動向について貴殿の予測は如何ですか？（答）

	A. 増加	B. 微増	C. ほぼ横ばい	D. 微減	E. 減少	計	前回
短期需要動向予測	0	7	38	25	9	79	82
比率	0%	9%	48%	32%	11%	DI -46	DI -50

5. 過剰きみ傾向かわらず

問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか？貴社の取扱品種のみについてご記入ください。(答)

12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	品種別	A	B	C	D	E		1月
DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	需給状況	非常に不足	不足気味	需給均衡	過剰気味	非常に過剰	計	DI
19	11	0	0	6	0	-7	-14	-28	-31	-27	-34	-9	鉄筋用丸鋼			24	4	1	29	-21
0	0	-3	0	-6	-3	-16	-18	-23	-29	-28	-25	-21	構造用丸鋼			21	6	1	28	-29
3	0	-3	3	-8	-8	-9	-18	-20	-10	-12	-6	-15	平角鋼			29	4		33	-12
41	36	15	11	-8	-24	-22	-36	-29	-29	-18	-13	-6	H形鋼			26	5		31	-16
89	120	85	57	25	12	4	-11	-15	-26	-11	-19	-22	コラム			21	4		25	-16
3	-6	-11	-8	-3	-10	-14	-15	-16	-24	-16	-17	-22	小形山形鋼		1	29	7		37	-16
3	-6	-14	-8	-15	-15	-16	-20	-23	-29	-21	-22	-29	中形山形鋼			26	11		37	-30
0	-9	-11	-3	-13	-19	-17	-23	-21	-26	-29	-19	-26	溝形鋼			25	9		34	-26
-14	-9	-16	-9	-3	-12	-10	-13	-15	-34	-30	-31	-29	軽量形鋼C形			23	8		31	-26
-5	0	-9	0	-12	-10	-5	-5	-11	-25	-16	-15	-18	軽量形鋼広巾			14	5		19	-26
12	0	-3	0	-21	-32	-34	-43	-58	-58	-53	-53	-47	冷延薄板			12	15	1	28	-61
14	16	-3	-3	-21	-28	-34	-55	-55	-50	-56	-60	-47	熱延薄板			14	14	1	29	-55
8	0	-7	-10	-32	-43	-45	-52	-53	-68	-59	-53	-52	表面処理鋼板			12	17	1	30	-63
34	16	3	0	-25	-39	-38	-44	-51	-57	-53	-56	-58	酸洗鋼板			14	17	2	33	-64
20	18	7	0	-13	-19	-33	-50	-48	-47	-51	-50	-48	中板			21	17	3	41	-56
45	36	15	17	0	-10	-29	-50	-38	-45	-51	-49	-49	厚板			23	13	3	39	-49
19	6	19	5	0	-13	-12	-32	-25	-20	-28	-22	-32	極厚板			13	3	1	17	-29
6	-6	6	0	0	0	-14	-19	-13	-29	-27	-21	-23	縞板			21	7		28	-25
3	0	-5	-10	-8	-18	-15	-30	-18	-31	-30	-28	-27	中径角			28	11		39	-28
8	13	2	2	-8	-8	-13	-16	-10	-25	-15	-19	-5	ガス管黒			31	7		38	-18
-8	0	-5	-5	-13	-19	-5	-17	-11	-22	-16	-17	-5	構造用鋼管			30	6		36	-17
14	10	2	1	-9	-15	-19	-28	-28	-34	-31	-30	-28	計	0	1	457	190	14	662	-33

6. 年明けから全般的に荷動き低調

問6】貴社の地域の景況、主力取扱品種の需要動向は如何ですか？地域の特殊事情・需要動向・信用問題などを織り交ぜて、概況をお知らせください。(答え)

北海道	A	今冬の北海道の丸棒需要は例年に比して超閑散状態。荷動きも少なく値動きもない。冬眠状態。しばらくは様子見。
	B	形鋼の12月在庫の荷動きは、昨年とほぼ同じ動きとなった。但し、ファブ向け建築の直送品が重なり、数量は昨年より大幅に増えた。札幌圏内のファブは、冬場でも仕事をある程度確保している模様。在庫販売、直送販売ともに利益率が下がり、収益性に課題を残したままとなっている。
東北	A	震災前と比べればまだいいが、新規物件は減少するばかりである。なんとか口銭を確保したい。
	B	出荷数量は少なく、春以降にならないと動いてこない状況。
	C	年末年始と動きは一時的に止まっている。今年も春以降の物件の動きに期待している。
	D	丸棒の出荷量は減少。来期物件の成約も出始めており、今は辛抱している。
	E	売上減、収益減、経費増の三重苦に直面している。
新潟	A	あらゆる業種で停滞しており、鋼材価格が少しずつ下がってきた。この先の価格下落も心配されるが、利益確保の商売を心掛けたい。
	B	12月中頃からの動きは下降気味。1月は稼働日数もさることながら停滞感あり。厳しい月になりそう。需要家の受け単価も厳しいものあり。動き始めるのは4月頃からの声あり。
	C	見積り案件が少なく、倉出しの荷動きも良くない。
	D	県内物件は非常に少ない。1～2月が底になるのか。3月頃からは物件が見えてきた。どの業界も廃業、倒産が増加している。
	E	商況は全く振るわず、そのうえ暖冬無雪で、冬ものは完全にNG。
	F	月を追うごとに需要の減退を感じる。1～3月は我慢の時期となるのではないかと。焦らず市況を崩さないように営業していかなければならない。
	G	暖冬の影響で冬物商品は不活性。産業機械、建設機械は輸出が低調。自動車含め全般的に盛り上がりや欠く。建築は、関東案件主体の大手ファブは春先にかけて山積みが高い。地場案件主体のMグレードファブも足元低迷。
神奈川	A	工作機械の引合いが少なかったため、来月以降の生産は少なめになる予定。公共建設、民間建設は安定して受注を頂いている。
	B	需要は落ち着き感あり。1～3月は期待できない。年度末に向けて価格下落が懸念される。
	C	新規の中小案件の話が少ないが、一部の得意先では昨年ボルト不足の影響で工期を遅らせた物件があり、ボルト不足が解消されたため2月前後には製作に入る話もある。しかし、全体的には厳しい年になるという話題が多い。
東京	A	前年と比較して、建設向け加工品の数量は減少した。11月比では売上金額は減少という形だが、12月も不振。市況価格は11月とほぼ同じ水準で一定している。品目によってバランスの変化がある。
	B	製造業向け定尺販売はますます鈍化している。短納期の土木、建築の金物加工だけが忙しい。オリンピック、パラリンピックの交通規制が物流に与える影響など頭を抱え込む問題が山積みである。

東京	C	需要家からのいい話は特でない。ただ、オリンピックまでが勝負である。価格はキープしたい。与信不安も既に出始めているので売り方にも注意したい。
	D	年末年始で稼働日数が少ないこともあるが、全体的に荷動きが悪い状態が続いている。建築物件とくにS造物件の減少により、合成デッキ製造販売メーカーが高炉系大手も含め腹をすかした状態であり、オリンピックが終わるまで、この状態が続くのではとの見方が大半である。
	E	市況価格は、なんとか維持している。自動車、建設機械、工作機械など全般的に需要低迷。現状の需要低迷が長引くか、製鋼メーカーの値下げがあれば一気に市況が下落することが懸念される。
	F	年末より受注は減少傾向である。オリンピックが終わるまでは各業種ともに見通しが良くない。受注は例年に比べて減少傾向のまま推移すると思われる。
静岡	A	Mグレードクラスファブの稼働、受注内容などは全く不透明である。仕事が薄くなってきたと言いつつ見積依頼すれば、山が高く無理との返答。受注物件の消化遅延は確かにあるようだ。地元工務店クラスから鉄骨物件（20～30トン）の請負先の紹介依頼を頂いている。芳しい回答ができないが、依頼状況は継続されている。鉄骨ファブと製缶鉄工所は陽と陰そのものである。厚板溶断（極厚機械マニホールド、油圧系部品など）現状から選考普当面感に難色気味である。多分、他地域も同様ではないか。機械が良くないのか。某メーカー、商社より継続的な取引（契約書）の作成依頼があった。買い手が担保できる内容項目はゼロ。コンプライアンス強化のためだそうだが営業部隊は大変だと思う。
	B	鉄骨、設備、製缶など各業種とも荷動きは低調。鉄骨ファブの上位グレードは夏場までの仕事量確保の目途はついてるが、回転の良い案件は少なく下位グレードは苦慮している。設備投資も延期案件が散見され、ライン設置を予定していた業者に手空きが目立つようになっている。
石川	A	リーマン以来という人が多いが、例えが悪すぎる。我慢と根性と努力でカバーできる環境である。政府の大判振舞いも大いに結構であり、即実行すべきである。相場の下げは続くが、商人は下げ相場でもうまくできるため、メーカーや加工業者よりはりはまだ飯が食えるから良い。
	B	製造業向けサイズの動きが、かなり悪くなっている。一部のユーザーでは、週休3日の話も聞こえてきた。メインの薄板は、さっぱり状況だが、幸い価格はまだ持ちこたえている方である。おかしな動きをする業者が出てくる前に荷動きが回復することを切に願う。
富山	A	建築、プラント、機材などは低調に推移し、土木（交通網）向けが少し出ている。
	B	医薬品工場、富山駅前ホテルなどの計画があるが、足元は製造業関連の需要の落ち込みが大きく、取り巻く環境は悪い。建築需要も少ない。
愛知	A	悪い状況は依然として続いている。自動車向けの需要が支えてくれると思ったが、あまり良くない。ただ先行きは明るい話も出ているようだ。どちらにしてもオリンピック後と米中関係の話抜きには今年は語れないようだ。
	B	（自動車）12月は増税の影響を受けてかなり減少した。1月も厳しい数字を予測している。（家具・陳列）1月に入り短納期、小ロット品の注文が入り、バタバタしているが、大きく受注につなげられない。今後、オリンピック案件に期待したい。

三重		静かな年末年始となった。昨年末からの一次加工依頼も減り、1～2月は空きのあるファブも出てきた。昨年12月上旬には決まるはずの明細が、今年になっても出てこない。「正月にゆっくりできて良かった」との声も聞かれたが、その裏には一抹の不安を感じている。谷あれば山ありで一次的なものだと思うが不安はぬぐえない。
岐阜		12月はたまたま売上が多かったが11月が少なかった調整だと思う。特に細かい切断品の受注が減少しているため売上減以上の停滞感がある。やはり産業機械向けの仕事が少ない。同業他社も利益重視でいるようだが、数量が減り価格競争がスタートすると困る。
大阪	A	公共土木工事は繁忙期だが、それ以外の民間向けは全般的に閑散している。ハイテンションボルト不足の影響が尾を引いているのか、鉄骨物件がかなり減っているものと思われる。これらの物件がRC造に向かっているとは思えず、新規物件が全般的に低調。
	B	12月の販売は後半荷動きが落ち単価も荷動きに迫力がないため弱含んだ。1月に入り、荷動きは大きく変わらないがメーカー姿勢が強いため価格もできるだけ下げないように努力している。暫くはこのような状況が続くものと思われる。
兵庫		需要は非常に悪い。厚板は高炉価格と電炉価格との値差が広がっている。
岡山		10月、11月、12月と月を追うごとに前年比売上のマイナスが増えている。12月は15%ダウン。
香川		四国地区の1～3月の鉄骨需要は厳しいと思われる。土木関連も人手不足の影響で出件はあっても受注できないといった状況もあるようだ。津波対策も引き続き継続されるようだ。
福岡		3月末までの年度内の建築、土木工事物件に絡んだ取引先は忙しい状況。その他の業者は忙しさにバラツキがあり、先行きも不透明。各業者で労働時間、人材不足や後継者問題で黒字倒産の話もあり、昨年以上の与信管理に努めている。
北九州		例年になく足元の倉出しは良くない状況。市況も弱含みに推移しており、厳しい環境が続いている。先々の大型案件はあるも中小物件は少なく思われる。